

浜松市の事例

「地域とのつながり」に関する施策事例

1 浜松市公式ソーシャルメディア

(1) 概要

全89媒体

Facebook 25、X(旧Twitter) 11、LINE公式アカウント 9、Instagram 27、Blog 1、YouTube 14、note 1、TikTok 1

(2) 主なアカウント

① 市の情報を網羅的に発信しているもの

事業	目的・内容
浜松市公式フェイスブック「いいら！」 (Facebook)	- 災害情報、事業やイベント情報、四季折々の風物詩、意外な豆知識などの本市の魅力を高めることができる情報を発信 - フォロワー数: 1.2万
浜松市公式「てんこちょ浜松」(X(旧Twitter))	- 浜松市の市政情報、緊急情報、魅力を高めることができる情報などを発信 - X(旧Twitter)フォロワー数: 2.3万

② 特定の施設や事業の情報を発信しているもの

事業	目的・内容
浜松市美術館 (Facebook、Instagram、X(旧Twitter))	- 浜松市美術館で開催される展覧会などに関する情報を、発信 - Facebookフォロワー数: 1,050 X(旧Twitter)フォロワー数: 9,531 Instagramフォロワー数: 3,402
浜松市がん検診 (LINE公式アカウント)	- 子宮頸がん検診及び乳がん検診に関する情報等を発信 - LINEともだち数: 6,832

1 浜松市公式ソーシャルメディア

③就職情報を発信しているもの

事業	目的・内容
浜松市役所職員採用情報 (LINE公式アカウント)	- 浜松市職員の採用に関する情報等を発信 - LINEともだち数: 7,960
【浜松市公式】インターンシップ情報 (Instagram、YouTube、TikTok)	学生等に市内企業への関心を高め、UIターン就職を促進するため、市内企業のインターンシップ情報等を全国に発信

④観光情報を発信しているもの

事業	目的・内容
Hamamatsu.Japan (Facebook、Instagram)	- 浜松の魅力的な景色やスポットを伝えられる印象的な写真を中心に、浜松への誘客を促す話題を投稿 - Facebookフォロワー数: 1,031 Instagramフォロワー数: 3.7万
浜松市観光・シティプロモーション課 (YouTube)	- 浜松市の魅力ある地域資源等の広報手段として、本市の認知度及び魅力度を向上させるための動画掲載等を実施。 - YouTubeチャンネル登録者数: 2,270

2 地元産品の贈り物

事業	目的・内容
いっかもないか事業 (浜松市水窪協働センター)	1 水窪PRボックス「いっかもないか」の作製 ・ 小包用の段ボール箱を水窪をPRするための専用デザインで作製 ・ 水窪の住民や町内の商店が地域の外へ発送するときに使用 2 水窪の今を発信 ・ 水窪出身者等を対象に水窪地域の季節感のある風景、集落の今の様子、日々のできごとなどを写真やYouTube動画で紹介 ・ ふるさと・水窪のありのままの今の様子を、水窪出身者や水窪のことを想う人に向けて発信 3 水窪応援団の結成 ・ 水窪出身の皆さんや水窪で暮らす人たちと交流したい、水窪を応援したい人から地域を支援するボランティアを募集して「水窪応援団」を結成 ・ 町内の地域活動やイベントなどに参加し、支援してもらうことで、地域の活性化につなげる

3 地域との協働

事業	目的・内容
ローカルコープ構想検討事業 (浜松市水窪協働センター)	【概要】 - 自治体の公共サービスを代替・補完し、地域課題を解決する新たな住民自治の仕組みである「ローカルコープ」を水窪地域に実装する取組 - 共助に必要な公共サービスの実行支援などを担う仕組みとして、地域内住民・企業と地域外関係人口の参画・運営によって、自治に必要な資金およびリソースを自ら調達し、各種リソースを分配 【具体的な取組内容】 - 身近な問題を住民自らが自分事としてまちの状況を知り、意見を出し合う「自分ごと化会議」を実施 - 自分ごと化会議の意見を基にグランドデザインを策定 - ローカルコープを通じた事業創出、中山間地域の課題解決政策の推進、定着化を図る
浜松・浜名湖プロモーション協議会 ※通称:We Love 浜松会議 (浜松・浜名湖ツーリズムビューロー)	浜松・浜名湖地域の知名度やイメージの向上、都市ブランドの確立、さらには交流人口及び定住人口を拡大することを目的に、観光、旅行、運輸、広告、など、業界を超えて幅広い分野の人たちが参加し、様々な魅力を国内外に発信、イベント企画、地域資源の発掘などに取り組む

3 地域との協働

事業	目的・内容
NPO法人による地域課題解決、地域活性化等の活動 【天竜区の例】 ・NPO法人夢未来くんま ・NPO法人春野のえがお ・NPO法人がんばらまいか佐久間 ・NPO法人こいねみさくぼ ・NPO法人まちづくりネットワーク WILL ・NPO法人山に生きる会 ・NPO法人ほっと龍山	【概要】 ・ 人口減少が進む中山間地域において、地域活性化や課題解決、魅力発信等を目的に活動するNPO法人 【具体的な取組】 ・ 味噌や漬物、そばなどの地場産品の生産、販売 ・ 地域イベント情報や特産品等の情報発信 ・ 公共交通の不十分な地域におけるNPOタクシーの運営や、高齢者への食事宅配サービス、子どもの放課後や長期休暇時の居場所づくりの事業である放課後子ども教室事業の実施等 ・ 道の駅等の施設運営
シブカワツツジの保全活動 (浜松湖北高校)	・ 2015年の開校時に地元「渋川つつじを愛する会」からの依頼により、生徒が静岡県天然記念物に指定されているシブカワツツジの苗木を栽培 ・ 地域との交流や、シブカワツツジのPRを目的に実施 ・ 他にも生徒の「つつじ祭り」への参加、地域開放講座の開催、渋川地区への苗木の定植を実施

3 地域との協働

事業	目的・内容
はままつ街みつプロジェクト (浜松調理菓子専門学校)	- 地域企業との交流を図るとともに、地域食材を知ることを目的に、コロナ禍における浜松の街中の活性化を目的とした浜松街みつプロジェクトに参加 - 浜松の街中で採れたはちみつを使ったお菓子の商品開発と販売を行った
勝坂神楽の継承活動 ※長期フィールドスタディ(北遠) (浜松学院大学)	- 長期フィールドスタディ受講生が10年間に渡って行っている、天竜区の伝統芸能である勝坂神楽の継承活動 2023年からは、舞・お囃子(笛・太鼓)の全ての勝坂神楽の芸能を任されており、勝坂神楽のお祭りの際には、勝坂集落の神社に神楽を奉納している - 現在、受講生は、勝坂神楽を単に継承するだけでなく、市内の児童・生徒を対象に、次世代に浜松の文化を伝えるために、市内の小・中学校の総合的な学習の時間に継承教室を実施している

3 地域との協働

事業	目的・内容
BLUE LAKE Project (株式会社BLUE LAKE Project)	- 三ヶ日町を中心に、「蒼い湖を子供たちの未来へ贈ること」を目標に「自然・健康・農業・文化・家族」をテーマにした環境と子どもに優しい商品の開発や体験イベントを実施するプロジェクトチーム - 地域の困りごと解決や社会貢献をビジネス化することで、元気と活気あふれる街を次世代へつなぐ「カタチ」をつくり、笑顔だらけの街を子ども達の未来へ贈るため、日々活動をしている
佐久間若者サミット (任意団体)	【概要】 - 佐久間町出身の若者を町内へ呼び戻すために、様々な取組を実施 - 主要メンバーは、佐久間町外に住む20～30代の若者10名程度 【具体的な取組内容】 - 浜松湖北高校佐久間分校の存続のため、InstagramなどのSNSを通じて、佐久間分校の現状や佐久間町の魅力を多くの人に知ってもらう活動「浜松佐久間分校を守りたいプロジェクト」を実施 - JR飯田線の中部天竜駅の前にある空きスペースを地元の高校生やボランティアの協力を得ながら改装する「佐久間リノベーションプロジェクト」を実施

4 自治体出身者等の交流

事業	目的・内容
浜松サポーターズクラブ (浜松市観光・シティプロモーション課)	【概要】 ・ 浜松が大好きな市民、出身者、ゆかりのある人が会員となる「浜松の応援団」 ・ 18歳以上で、浜松を応援していただける方なら誰でも入会可能 ・ 会員は、毎年開催される「浜松やらまいか交流会」への出席が可能 【具体的な取組内容】 ・ 市内外の人に向けた浜松のPR ・ サポーターによる地域資源の発掘、情報提供 ・ シティプロモーションやサポーターズクラブに関する意見、提言
浜松やらまいか交流会 (浜松市東京事務所)	【概要】 ・ 浜松市の情報発信及び首都圏における浜松ゆかりの方々の交流を目的に年に1度開催 【具体的な取組内容】 ・ 浜松市長による市政報告会 ・ 懇親会 ・ 浜松市の施策や地元企業・団体による物産等のPR

5 その他

事業	目的・内容
てんりゅうプラス (浜松市天竜区)	天竜区の大自然に溶け込んだ「いつも暮らしの面白さ」を伝え、ライフスタイルのブランド化を目指す。天竜区に住む人々の暮らしを紹介する冊子「てんりゅう暮らしの見本帖」を作成
介護施設の駄菓子屋さんと子供の居場所づくり (株式会社バイ・スティックケアサービス)	- 幼稚園・小・中学校の通学ルートという立地を生かし、介護施設内に駄菓子屋を設け、子供が利用できる環境を整備 - 施設内のダイニング(コミュニティスペース)を自由に使えるスペースにし、勉強や遊び、高齢者との自然な交流の場として開放している